

県高校総体結果

男子学校対抗 2回戦敗退 (県ベスト16)

男子シングルス 初戦敗退 女子シングルス 2回戦敗退

男子ダブルス 2回戦敗退

6月7・8日に岡谷市民総合体育館で、一年で最も大きな大会である県総合体育大会が行われた。

初日は学校対抗で、初戦の須坂戦に大苦戦する。1番を落とし2番で取り返すも、ダブルスに遅れをとり、最後に逆転してようやく勝ち星が先行する。4番も落として5番でやっと勝ちを得る。実に薄氷を踏む思いであった。

2回戦の飯田戦は、昨年の新人戦と同じ相手である。前回0-3のストレート負けを喫しており、今回はなんと少しでも雪辱を果たしたいため、前回とはオーダーを変えて臨む。しかし前半の相手が強く、前回のような一方的な展開ではなかったが、どうしても勝ち星を挙げることができない。特にダブルスは始めから劣勢が予想されたため、前後のシングルスで守りを固める形となる。後半に持ち込めば流れも変わったかもしれないが、ダブルスまでで3点を立て続けに落とし、とうとう前回と同じセットカウントで、2回戦敗退となる。

中信勢は、松商 (中信1位) が県総体で3年ぶりに優勝し、全国大会への出場を果たし、松本工業 (中信2位) はベスト4に入って、地元開催枠の北信越大会出場権を手にした。しかしその他の中信勢は初戦敗退と、これも前回の新人戦同様の結果で、上位と下位の差が開いた結果となった。

続いて二日目は個人戦が行われ、ダブルスの試合から始まった。2組が出場したが、3年生ペアは初戦を難なくものにして2回戦に進むも、2年生ペアは中信大会の時の切れが見られずに、初戦で敗退した。また男女シングルスでは、新人戦の時のように勝ち上がり期待されたが、2回戦までで力尽き、全種目を通じて上位大会への夢は断たれ、3年生最後の大会となってしまった。

大会前に中間考査があり、大きく練習が途切れたことが痛かったが、それ以前に新学期に入る段階で、まだつけるべき力がついておらず、そのまま新学期に入ってしまったことが敗北の結果であった。

3年生はここで引退という形になったが、次に続く1・2年生は次週に中部日本選手権の大会もあり、次の大会以降はより意欲的に試合に臨んでほしい。

さらに翌週の北信越総体 (松本開催) では、北信越のレベルを間近に見ることの出来る場であり、裏方仕事であるが、得るものを出来るかぎり吸収してもらいたい。